

(参考資料)

学 校 保 健 統 計 調 査

静岡県の調査と文部科学省の調査の違いについて

○身長、体重の発育状態調査の対象者

- ・静岡県…調査実施対象校の在籍者全員
ただし、高等学校は定時制課程を除く
- ・文部科学省…調査実施対象校に在籍する児童生徒のうちから抽出された者

○栄養状態

- ・静岡県…痩身傾向 肥満度-20%以下の者
肥満傾向 肥満度 20%以上の者
- ・文部科学省…内科検診での学校医の指摘を受けた者

全 国 疾 病 ・ 異 常 被 患 率 等

朝 食 摂 取 状 況 調 査 報 告 書

1 令和3年度 静岡県学校保健統計調査について

(1) 調査目的

児童生徒の発育並びに健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得る。

(2) 調査期日

令和3年4月1日～令和3年6月30日（学校保健安全法に基づく健康診断結果による）

新型コロナウイルス感染症の影響により実施体制が整わない等、やむを得ない事由によって当該期日までに健康診断を実施することができない場合には、当該年度末日までの間に、可能な限り速やかに実施する。

(3) 調査対象

校種	学校数	調査人数	内 訳			
			男子	女子	男子	女子
小学校	61	31,990	16,350	15,640		
中学校	42	18,857	9,600	9,257		
高等学校	33	24,357	13,004	11,353		
計	136	75,204	38,954	36,250		

(4) 調査結果の概要

令和3年度については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間が年度末まで延長された。このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、全国値・他の都道府県の数値及び過去の数値と単純比較することはできない。

ア 発育状態調査結果

(7) 身長

男女を比べると、10歳、11歳で女子が男子を上回っている。男子は10歳以降の大きな伸びが中学校期にも持続するが、女子は13歳を境に伸びは緩やかになっている。13歳以降は男女ともに前年度を上回っている。

(4) 体重

男女を比べると、11歳のみ女子が男子を上回っている。男子は、身長と同じく小学校期の伸びが中学校期以降にも持続するが、女子は14歳を境に伸びは緩やかになっている。

<参考> 静岡県の子童生徒の体格（小学校1年及び各校種の最高学年）

令和3年度、平成3年度：県平均を示す

区分		小学校1年		小学校6年		中学校3年		高等学校3年	
		令和3年	平成3年	令和3年	平成3年	令和3年	平成3年	令和3年	平成3年
身長 c m	男子	116.6	116.1	145.1	143.9	165.2	164.5	170.9	170.8
	女子	115.2	115.6	147.2	145.9	156.5	156.5	157.8	158.1
体重 k g	男子	21.8	21.1	38.9	37.1	53.7	53.3	61.6	62.0
	女子	21.0	20.8	39.5	38.6	50.0	50.3	51.8	52.3

(ウ) 全国との比較

全国平均を上回った項目は、高等学校3年男子の身長、小学校1年男子の体重であるが、その数値も微量である。

イ 健康状態調査結果

(ア) 「う歯」

う歯（むし歯）の被患率（処置完了者を含む）は、小学校33.2%（令和2年度34.7%、令和元年度41.3%）、中学校24.9%（令和2年度27.3%、令和元年度25.0%）、高等学校30.9%（令和2年度40.1%、令和元年度42.8%）であり、中学校期の割合が低い。

また、未処置歯のある者は、小学校15.3%（令和2年度16.2%、令和元年度19.4%）、中学校7.9%（令和2年度9.6%、令和元年度10.5%）、高等学校11.5%（令和2年度13.2%、令和元年度15.6%）であり、減少傾向にある。

さらに、顎関節は、年齢が上がるにつれて増加する傾向にある。歯垢、歯肉の異常被患率は、中学校期で割合が高い。また、歯列・咬合の異常被患率も中学校期の割合が高い。

(イ) 「12歳の永久歯の一人当たり平均う歯等数」

12歳の永久歯の一人当たりのう歯等の本数は0.4本（令和2年度0.5本、令和元年0.5本）で前年度からの変化は減少している。全国平均値は0.63本、平成15年度から連続して全国平均値を下回っている。

なお、健康日本21で示す目標数値は1.0である。

(ウ) 「裸眼視力1.0未満」

裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校31.3%（令和2年度30.7%、令和元年度30.2%）、中学校58.7%（令和2年度55.7%、令和元年度55.9%）、高等学校67.2%（令和2年度68.2%、令和元年度70.9%）で、概ね横ばいである。

0.3未満の者は、小学校9.3%（令和2年度9.6%、令和元年度9.4%）、中学校29.8%（令和2年度28.1%、令和元年度30.7%）、高等学校37.9%（令和2年度43.8%、令和元年度48.8%）である。年齢別にみると、年齢が上がるにつれて1.0未満の者の割合が高くなっている。

(エ) 「鼻・副鼻腔疾患」

鼻・副鼻腔疾患の被患率は、小学校9.7%（令和2年度7.7%、令和元年度13.4%）、中学校8.2%（令和2年度4.4%、令和元年度8.2%）、高等学校9.2%（令和2年度4.6%、令和元年度は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上等のため、統計数値を公表していない）であり、小学校期の被患率が高い。

(オ) 「痩身傾向」と「肥満傾向」

痩身傾向の割合は、小学校1.3%（令和2年度1.5%、令和元年度1.3%）、中学校3.2%（令和2年度4.3%、令和元年度3.0%）、高等学校3.8%（令和2年度4.5%、令和元年度3.7%）で、高等学校初期の割合が高い。

また、肥満傾向の割合は、小学校8.2%（令和2年度8.6%、令和元年度7.9%）、中学校8.5%（令和2年度9.2%、令和元年度7.7%）、高等学校6.5%（令和2年度7.6%、令和元年度7.9%）で、中学校期の割合が高い。

(カ) 「アトピー性皮膚炎」

アトピー性皮膚炎の被患率は、小学校2.1%（令和2年度2.0%、令和元年度2.4%）、中学校2.4%（令和2年度1.6%、令和元年度2.1%）、高等学校2.6%（令和2年度1.8%、令和元年度1.6%）で、高等学校期の被患率が高い。

(キ) 「ぜん息」

ぜん息の被患率は、小学校2.4%（令和2年度1.6%、令和元年度1.8%）、中学校1.2%（令和2年度2.1%、令和元年度1.3%）、高等学校1.7%（令和2年度1.2%、令和元年度1.7%）で、中学校期の被患率が高い。

(ク) 「心電図異常」

心電図異常の割合は、小学校2.5%（令和2年度2.2%、令和元年度3.2%）、中学校2.8%（令和2年度3.0%、令和元年度2.6%）、高等学校2.8%（令和2年度2.6%、令和元年度3.0%）である。

(ケ) 「蛋白検出」

蛋白検出の割合は、小学校0.8%（令和2年度0.9%、令和元年度0.8%）、中学校2.5%（令和2年度3.5%、令和元年度2.7%）、高等学校2.3%（令和2年度2.7%、令和元年度2.6%）で、中学校期の割合が高い。

静岡県児童・生徒身体計測平均値前年度比較表

対前年度差 ○印は上まわっていることを示す ●印は下まわっていることを示す

区分	小学校						中学校						高等学校			
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	計	15歳	16歳	17歳
男子	令和3年度	116.6	122.3	127.8	133.4	138.7	145.1	153.0	160.5	165.2	168.3	170.9		168.3	169.8	170.9
	令和2年度	117.2	123.1	128.4	133.7	139.1	145.8	153.5	159.9	165.2	168.3	170.3		168.3	169.4	170.3
	対前年度差	● 0.6	● 0.8	● 0.6	● 0.3	● 0.4	● 0.7	● 0.5	○ 0.6	● 0.6	● 0.5	○ 0.6		● 0.5	○ 0.4	○ 0.6
女子	令和3年度	21.8	24.0	27.3	31.0	34.6	38.9	43.9	49.1	53.7	58.2	61.6		58.2	59.6	61.6
	令和2年度	21.7	24.6	27.7	31.1	34.9	39.4	45.0	49.3	54.0	57.9	62.0		57.9	59.5	62.0
	対前年度差	○ 0.1	● 0.6	● 0.4	● 0.1	● 0.3	● 0.5	● 1.1	● 0.2	● 0.3	○ 0.3	○ 0.4		○ 0.3	○ 0.1	● 0.4
男子	令和3年度	115.2	121.3	127.4	133.2	140.4	147.2	151.3	154.9	156.5	157.0	157.8		157.0	157.2	157.8
	令和2年度	116.0	121.9	127.8	134.1	141.0	147.2	151.7	154.5	156.3	156.7	157.5		156.7	157.1	157.5
	対前年度差	● 0.8	● 0.6	● 0.4	● 0.9	● 0.6	● 0.6	● 0.4	○ 0.4	○ 0.2	○ 0.3	○ 0.3		○ 0.6	● 0.3	○ 0.5
女子	令和3年度	21.0	23.8	27.0	29.9	34.1	39.5	43.4	47.0	50.0	50.7	51.8		50.7	51.7	51.8
	令和2年度	21.1	23.8	27.1	30.5	34.8	39.6	43.5	47.0	49.7	51.3	52.3		51.3	52.0	52.3
	対前年度差	● 0.1	● 0.1	● 0.1	● 0.6	● 0.7	● 0.1	● 0.1	● 0.1	● 0.1	○ 0.3	○ 0.3		● 0.6	● 0.3	● 0.5

栄養状態 (痩身傾向・肥満傾向の割合) (%)

区分	小学校						中学校						高等学校			
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	計	15歳	16歳	17歳
男子	令和3年度	1.3	0.3	0.8	1.1	2.5	2.3	3.3	2.9	3.5	3.5	3.8		4.7	4.2	3.8
	令和2年度	1.4	0.3	1.0	1.9	2.0	2.9	4.5	4.2	3.8	5.7	5.4		5.4	5.8	3.6
	対前年度差	9.3	5.9	9.6	11.0	12.6	11.3	9.8	11.8	9.1	8.3	7.6		7.6	7.1	7.3
女子	令和3年度	1.3	0.3	1.1	1.9	1.8	2.4	3.1	3.3	3.6	2.5	2.8		3.9	2.2	2.3
	令和2年度	1.6	0.3	1.3	1.9	2.3	2.9	4.0	4.5	3.7	3.9	3.4		3.3	3.5	3.5
	対前年度差	7.1	6.3	7.4	7.5	8.1	8.3	7.2	8.2	6.8	6.6	5.3		5.3	4.6	5.9
男女計	令和3年度	1.3	0.3	1.0	1.5	2.2	2.4	3.2	3.1	3.6	3.0	3.8		3.8	3.2	3.1
	令和2年度	1.5	0.3	1.1	1.9	2.0	2.9	4.3	4.3	3.8	4.8	4.5		4.5	4.8	3.5
	対前年度差	8.2	6.1	8.6	9.2	10.4	9.8	8.5	10.0	8.0	7.5	6.5		6.5	5.9	6.6
男女計	8.6	6.8	9.0	10.3	10.2	10.9	9.2	10.2	8.5	8.9	7.6		7.6	6.4	8.2	

静岡県児童・生徒身体計測平均値全国比較表

○印は上まわっていることを示す
●印は下まわっていることを示す

令和3年度

区分	小学校						中学校					高等学校		
	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	11歳1歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男子	身長	116.6	122.3	127.8	133.4	138.7	145.1	153.0	160.5	165.2	168.3	169.8	170.9	
	cm対全国差	● 0.1	● 0.3	● 0.5	● 0.4	● 0.6	● 0.8	● 0.6	● 0.1	● 0.5	● 0.3	○ 0.1	
女子	身長	21.8	24.0	27.3	31.0	34.6	38.9	43.9	49.1	53.7	58.2	59.6	61.6	
	kg対全国差	○ 0.1	● 0.5	● 0.4	● 0.3	● 0.5	● 0.7	● 1.3	● 0.9	● 1.0	● 0.8	● 0.9	● 0.8	
男子	身長	115.2	121.3	127.4	133.2	140.4	147.2	151.3	154.9	156.5	157.0	157.2	157.8	
	cm対全国差	● 0.6	● 0.5	● 0.2	● 0.9	● 0.5	● 0.1	● 0.8	● 0.1	● 0.3	● 0.5	● 0.2	
女子	身長	21.0	23.8	27.0	29.9	34.1	39.5	43.4	47.0	50.0	50.7	51.7	51.8	
	kg対全国差	● 0.2	● 0.1	● 0.7	● 0.9	● 0.3	● 1.0	● 0.6	● 0.6	● 0.6	● 0.7	

静岡県児童・生徒発育状況過去10年間の推移（身長）

男子

年齢	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
6歳		115.9	115.9	116.1	116.1	115.8	116.0	116.0	116.1	117.2	116.6
7歳		122.0	122.0	122.3	122.2	122.0	122.0	122.0	122.2	123.1	122.3
8歳		128.2	127.8	127.8	127.6	127.6	127.7	127.9	127.8	128.4	127.8
9歳		133.0	132.5	133.1	132.9	132.8	133.1	133.1	132.9	133.7	133.4
10歳		138.1	138.4	138.4	138.6	138.2	138.6	138.5	138.3	139.1	138.7
11歳		144.6	144.2	144.6	144.7	144.7	144.7	144.4	144.5	145.8	145.1
12歳		151.9	151.6	152.1	151.7	151.8	152.1	151.8	152.0	153.5	153.0
13歳		159.3	158.7	159.0	159.0	159.3	159.3	159.7	159.5	159.9	160.5
14歳		164.8	164.6	164.6	164.6	164.5	165.0	164.7	165.0	165.2	165.2
15歳		167.8	168.2	167.9	167.1	167.8	167.9	168.1	167.8	168.3	168.3
16歳		169.5	169.4	169.4	169.5	169.3	169.5	169.8	169.6	169.4	169.8
17歳		170.1	169.9	170.6	170.4	170.0	170.4	170.4	170.3	170.3	170.9

女子

年齢	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
6歳		115.2	115.2	115.2	115.3	115.0	115.3	115.1	115.1	116.0	115.2
7歳		121.5	120.8	121.3	121.5	121.0	121.0	121.1	121.0	121.9	121.3
8歳		127.1	126.7	126.9	126.9	126.8	126.9	126.8	127.0	127.8	127.4
9歳		132.6	133.0	134.4	133.0	132.6	132.8	133.1	133.0	134.1	133.2
10歳		139.5	139.8	139.6	139.7	139.5	139.8	139.9	139.7	141.0	140.4
11歳		145.9	146.2	146.6	146.3	146.1	146.1	146.4	146.2	147.2	147.2
12歳		151.2	151.4	151.3	151.2	151.4	151.4	151.2	151.4	151.7	151.3
13歳		154.8	154.3	154.7	154.3	154.4	154.6	154.4	154.4	154.5	154.9
14歳		156.3	156.0	156.0	155.9	156.1	156.2	156.0	156.5	156.3	156.5
15歳		157.0	156.6	156.8	156.9	156.7	156.7	156.9	156.9	156.7	157.0
16歳		157.8	157.1	155.3	157.3	157.1	157.3	157.5	157.2	157.1	157.2
17歳		158.3	157.5	157.6	157.8	157.3	157.4	157.7	157.4	157.5	157.8

静岡県児童・生徒発育状況過去10年間の推移（体重）

男子

年齢	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
6歳		21.1	21.0	21.1	21.1	21.0	21.0	21.0	21.1	21.7	21.8
7歳		23.7	23.7	23.7	23.3	23.8	23.8	23.8	24.0	24.6	24.0
8歳		26.9	26.6	26.8	27.2	26.8	26.6	26.8	27.2	27.7	27.3
9歳		29.7	29.4	29.9	29.8	29.9	30.0	30.2	30.3	31.1	31.0
10歳		33.1	33.4	33.5	33.5	33.5	33.4	33.7	33.8	34.9	34.6
11歳		37.3	37.5	37.6	37.6	37.9	37.6	37.7	38.4	39.4	38.9
12歳		43.3	42.7	43.0	42.8	42.8	43.2	42.9	43.4	45.0	43.9
13歳		48.2	47.8	47.8	47.5	47.9	48.4	48.3	48.3	49.3	49.1
14歳		53.5	53.3	53.1	53.1	52.6	53.4	53.3	53.7	54.0	53.7
15歳		57.7	57.9	58.2	57.7	58.2	58.1	57.7	58.5	57.9	58.2
16歳		61.0	60.0	59.7	59.8	59.9	59.5	59.6	59.9	59.5	59.6
17歳		62.0	61.5	62.0	61.9	61.8	61.4	61.7	61.8	62.0	61.6

女子

年齢	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
6歳		20.7	20.2	20.6	20.7	20.6	20.7	20.6	20.7	21.1	21.0
7歳		23.3	23.0	23.1	23.2	23.3	23.1	23.1	23.3	23.8	23.8
8歳		25.9	25.9	25.9	26.7	26.2	26.0	26.1	26.4	27.1	27.0
9歳		29.4	29.6	29.5	29.5	29.4	29.3	29.5	29.8	30.5	29.9
10歳		33.7	33.8	33.4	33.4	33.5	33.4	33.7	34.0	34.8	34.1
11歳		37.9	37.8	38.8	38.4	38.4	38.1	38.3	38.5	39.6	39.5
12歳		43.2	42.8	42.8	43.4	42.9	43.4	43.0	43.1	43.5	43.4
13歳		46.9	46.5	46.9	46.6	46.4	47.1	46.5	46.8	47.0	47.0
14歳		49.6	49.0	49.4	49.2	49.4	49.7	49.5	49.7	49.7	50.0
15歳		51.2	51.0	50.7	51.2	51.1	51.0	51.2	51.4	51.3	50.7
16歳		52.5	51.9	51.3	52.1	52.2	51.9	52.3	52.0	52.0	51.7
17歳		53.3	52.3	52.6	52.5	52.7	52.3	52.5	52.4	52.3	51.8

17 都道府県別 年齢別 疾病・異常被患率等(男女計)一静岡県一

区分	計	裸眼視力			視力矯正者の裸眼視力			裸眼視力		視力矯正者の視力		眼の疾病・異常		難聴	耳鼻咽喉科疾患		歯・口腔		歯の状況		その他疾病の異常の状況					
		1.0以上	0.7未滿	0.3未滿	1.0以上	0.7未滿	0.3未滿	1.0未滿	0.7以上	0.3以上	計	未滿	0.7以上		0.3以上	耳疾患	鼻疾患	口疾患	むし歯(う歯)	歯列不正		歯の状況				
		1.0以上	0.7未滿	0.3未滿	1.0未滿	0.7未滿	0.3未滿	1.0未滿	0.7未滿	0.3未滿	計	未滿	0.7以上		0.3以上	耳疾患	鼻疾患	口疾患	むし歯(う歯)	歯列不正		歯の状況				
幼稚園	100.0	70.4	21.2	5.0	0.6	0.4	0.5	1.3	0.6	29.1	1.2	0.1	...	0.2	3.2	3.2	0.4	27.4	12.3	15.2	5.0	0.2	1.0	0.1	1.9	
小学校	計	100.0	67.8	8.8	9.5	3.4	0.9	1.0	2.7	5.9	31.3	9.8	12.2	9.3	2.8	0.4	6.1	9.7	33.2	18.0	15.3	6.0	0.1	3.9	3.1	9.2
	6歳	100.0	83.7	8.3	4.5	0.6	0.6	0.5	1.2	15.7	15.7	8.8	5.7	3.3	2.4	0.7	7.9	9.3	26.1	10.3	15.8	2.5	0.1	1.5	1.0	6.5
	7歳	100.0	79.8	8.0	6.0	2.4	0.8	1.0	1.3	1.0	19.5	8.8	7.3	3.4	3.0	0.3	7.5	9.9	34.7	17.1	17.7	5.3	0.0	3.2	1.7	6.7
中学校	計	100.0	71.6	9.2	9.5	3.4	1.0	0.9	1.7	2.6	27.4	10.1	11.2	6.0	2.8	0.4	5.6	10.6	40.5	21.3	19.2	5.6	0.1	4.4	3.5	7.8
	8歳	100.0	64.4	8.2	11.5	3.7	1.0	1.1	2.9	7.1	34.6	9.3	14.4	10.9	3.0	...	6.3	10.4	39.3	22.0	17.3	7.2	0.1	3.7	3.2	10.0
	9歳	100.0	56.1	10.6	12.7	4.8	1.1	1.2	3.7	9.8	42.8	11.7	16.5	14.6	2.5	0.3	4.9	10.1	34.7	21.6	13.1	8.3	0.1	6.4	5.2	12.3
高等学校	計	100.0	53.3	8.4	12.4	5.2	1.1	1.4	5.1	13.1	45.6	9.9	17.5	18.2	2.8	...	4.5	8.9	23.9	14.9	9.0	6.8	0.1	4.1	3.9	11.5
	12歳	100.0	40.3	8.9	11.2	6.3	1.0	1.6	7.2	23.5	58.7	10.5	18.4	29.8	2.6	0.2	6.4	8.2	24.9	16.9	7.9	6.8	0.2	6.4	6.6	3.9
	13歳	100.0	44.7	8.9	11.2	6.3	0.4	1.5	7.0	20.1	54.8	10.3	18.2	26.3	2.7	0.2	7.9	8.8	23.0	15.6	7.4	6.6	0.1	6.5	6.4	5.4
高等学校	計	100.0	38.1	7.9	13.5	5.4	1.4	1.7	8.3	23.6	60.5	9.6	21.8	29.1	2.5	...	4.6	8.9	24.2	16.6	7.6	7.4	0.2	6.6	7.0	3.6
	14歳	100.0	38.2	9.9	8.8	7.2	1.0	1.7	6.3	26.8	60.8	11.6	15.1	34.0	2.7	0.3	6.6	7.0	27.3	18.6	8.8	6.4	0.2	6.0	6.6	2.6
	15歳	100.0	32.6	9.6	7.2	4.0	0.2	2.2	10.2	33.9	67.2	11.8	17.5	37.9	2.0	0.2	2.1	9.2	30.9	19.5	11.5	6.0	0.3	4.3	4.4	0.3
高等学校	計	100.0	35.2	10.7	6.9	5.4	0.3	1.8	8.2	31.5	64.5	12.5	15.0	36.9	2.2	0.2	3.2	9.3	25.2	15.6	9.6	5.9	0.1	4.4	4.6	0.3
	16歳	100.0	29.0	10.6	9.1	3.6	0.3	2.5	11.7	33.2	70.8	13.2	20.8	36.8	1.9	...	1.9	8.5	29.7	18.8	10.9	6.6	0.5	4.4	4.5	0.3
	17歳	100.0	33.7	7.4	5.8	2.9	0.2	2.3	10.7	37.0	66.1	9.7	16.5	39.9	2.0	0.2	1.4	9.9	37.8	24.0	13.8	5.4	0.4	4.1	4.2	0.4

区分	計(本)	永久歯の1人当り		栄養状態		せき四柱胸の形態		皮膚疾患		結核検査の対相		心疾患		心電図異常		尿糖検出の者		その他の疾病・異常		歯の病	その他異常の常		
		平均むし歯(う歯)数	むし歯(う歯)未処置数	未歯	処歯	未歯	処歯	未歯	処歯	未歯	処歯	未歯	処歯	未歯	処歯	未歯	処歯	未歯	処歯			未歯	処歯
		失歯数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数			むし歯(う歯)未処置数	むし歯(う歯)未処置数
幼稚園	
小学校	計	
	6歳	
	7歳	
中学校	計	
	8歳	
	9歳	
高等学校	計	
	12歳	
	13歳	

(注) 1. この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者)の割合の推定値を示したものである。
 2. 「X」は疾病・異常被患率等の標準差が5以上、受検者が100人(5歳は50人)未満、回答者が10以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。
 3. 結核に関する検査の取扱いについては、「学校保健安全法施行規則」の一部改正に伴い、平成24年4月から教育委員会に設置された結核対策委員会からの意見を聞かずに精密検査を行うことができるようになったため、「結核の精密検査の対象者」には、学校の精密検査の結果、精密検査が必要と認められた者も含まれる。

令和3年度 静岡県教育委員会 朝食摂取状況調査報告書

1 調査の目的

子供たちの朝食欠食や偏った栄養摂取などは、生活習慣病の低年齢化や心の健康問題にも大きな影響を与えていると指摘されていることから、朝食摂取状況を調査して実態を把握し、学校（幼稚園・認定こども園を含む）・家庭・地域における「食育・食に関する指導」の資料とする。

2 調査期間

令和3年10月1日（金）から11月5日（金）までの「登校（登園）する日」1日に実施。

3 調査種類及び対象

(1) 全園・全校調査

【調査対象】

- 公立幼稚園及び公立こども園の年長児学級全幼児
- 公立小中学校（中等部）の全児童生徒
- 公立高等学校の全生徒



	幼稚園 こども園	小学校	中学校 中等部	高校 (全日)	高校 (定時)	合計
調査人数	5,348 人	174,731 人	84,037 人	54,695 人	1,541 人	320,352 人

(2) 抽出調査

【調査対象】

- 各市町の公立幼稚園又は公立こども園各1園の年長児学級1学級
- 各市町の公立小学校各1校の5、6年生各1学級、公立中学校各1校の2年生1学級
- 県立高等学校（全日制課程）9校の2年生1学級

	年長児	小学5年生	小学6年生	中学2年生	高校2年生 (全日)	合計
調査人数	567 人	900 人	935 人	1110 人	253 人	3,765 人

※令和元年度より、小学5年生調査を追加。

4 調査結果

(1) 全園・全校調査

ア 朝食摂取率

朝食摂取率は、全体では97.0%と昨年度に比べてわずかに下がる結果に。

朝食摂取率は、全体では昨年度に比べ0.2ポイント下がり、97.0%という結果であった。園児は昨年度と同値だったが、小学生、中学生、高校生（全日）は昨年度より0.1～0.3ポイント下回った。全体の朝食摂取率は、ここ数年ほぼ横ばい傾向である。

	園児	小学生	中学生	高校生 (全日)	全体
令和3年度	98.3%	97.9%	95.8%	96.0%	97.0%
令和2年度	98.3%	98.0%	96.1%	96.3%	97.2%

イ 学年別朝食摂取率

学年別で見ると、摂取率が上がった学年はなかった。

学年別朝食摂取率は、昨年度と比べ、年長児、小学1、5年生、中学3年生、高校2年生で同値だったが、小学2、3、4、6年生、中学1、2年生、高校1、3年生で0.1～0.5ポイント下回り、上がった学年はなかった。

	年長児	小1	小2	小3	小4	小5	小6
令和3年度	98.3%	98.3%	98.2%	98.3%	97.9%	97.7%	97.0%
令和2年度	98.3%	98.3%	98.3%	98.4%	98.0%	97.7%	97.2%

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	全体
令和3年度	96.2%	95.8%	95.4%	96.5%	96.2%	95.5%	97.0%
令和2年度	96.7%	96.1%	95.4%	96.9%	96.2%	95.8%	97.2%

ウ 高等学校夜間定時制課程朝食摂取率

高校（定時制）の全体では、昨年度と比べ2.2ポイント下がった。

高校定時制では、昨年度と比べ、4年生は2.1ポイント、2年生は0.5ポイント上がったものの、1年生は3.4ポイント下がり、特に3年生は6.9ポイントと大きく下がった。全体では、2.2ポイント下がる結果となった。

	高1	高2	高3	高4	全体
令和3年度	57.6%	62.2%	56.9%	48.8%	57.8%
令和2年度	61.0%	61.7%	63.8%	46.7%	60.0%

(2) 抽出調査

ア 栄養バランスのとれた朝食をとっている（朝食に、赤・黄・緑の3種類の食品を食べた）者の割合

栄養バランスのとれた朝食摂取の割合は、昨年度に比べて微増。

「栄養バランスのとれた朝食」の数値は、全体では昨年度より0.3ポイント上がり45.3%となった。校種・学年別では、年長児は3.8ポイント、小学5年生は2.7ポイント上がった一方で、小学6年生は0.7ポイント、中学2年生は1.7ポイント、高校2年生は5.1ポイント昨年度より下がった。

	年長児	小5	小6	中2	高2	全体
令和3年度	42.9%	46.1%	46.1%	45.6%	43.6%	45.3%
令和2年度	39.1%	43.4%	46.8%	47.3%	48.7%	45.0%

イ 「子供一人」で朝食を食べた割合

子供一人で朝食を食べた割合は、学年が上がるにつれて増加。

「子供一人」で朝食を食べた割合は、昨年度と比べ、年長児は1.7ポイント、小学5年生は1.8ポイント、中学2年生は3.9ポイント下がったが、小学6年生は6.6ポイント、高校2年生は2.4ポイント上がった。

	年長児	小5	小6	中2	高2
令和3年度	16.7%	25.0%	33.9%	41.2%	62.1%
令和2年度	18.4%	26.8%	27.3%	45.1%	59.7%

ウ 日ごろ「子供一人」で朝食を食べている割合

高校2年生の約半数が、日ごろ朝食を一人で食べている。

朝食を一人で食べる習慣について、よくあると回答した年長児は12.9%、小学5年生は20.2%、小学6年生は30.1%、中学2年生は37.7%、高校2年生(全日)は54.9%であった。よくある・ときどきあると回答した割合は、年長児で22.4%、小学5年生で36.2%、小学6年生で46.1%、中学2年生で53.3%、高校2年生で75.1%という結果となり、学年が上がるにつれ、朝食を一人で食べている割合は増加する傾向にある。

	年長児	小5	小6	中2	高2
よくある	12.9%	20.2%	30.1%	37.7%	54.9%
ときどきある	9.5%	16.0%	16.0%	15.6%	20.2%
たまにある	12.3%	18.2%	16.5%	14.7%	7.9%
ほとんどない	65.3%	45.6%	37.4%	32.0%	17.0%

エ 1週間のうち朝食を摂取している日の割合

小学校6年生以上の児童生徒の約5%は、朝食を食べる習慣が身に付いていない。

朝食を摂取する習慣について、毎日食べる・食べる日の方が多いと回答した年長児は96.6%、小学5年生は96.7%、小学6年生は94.9%、中学2年生は94.5%、高校2年生は93.6%という結果となった。他方、食べない日の方が多い・ほとんど食べないと回答した割合は、年長児は3.4%、小学5年生は3.3%、小学6年生は5.1%、中学2年生は5.5%、高校2年生は6.4%という結果となった。

	年長児	小5	小6	中2	高2
毎日食べる	91.3%	84.9%	80.6%	78.2%	80.6%
食べる日の方が多い	5.3%	11.8%	14.3%	16.3%	13.0%
食べない日の方が多い	2.3%	2.6%	3.3%	3.5%	4.0%
ほとんど食べない	1.1%	0.7%	1.8%	2.0%	2.4%

オ 朝食欠食の理由(複数回答あり)

朝食欠食の主な理由は、「食べる時間がない」、「食欲がなかった」。

朝食欠食の理由は、ほとんどの学年が「食べる時間がない」が最も多かった。次いで「食欲がなかった」、「普段から朝食はとらない」が主な理由として挙げられた。



調査対象人数	年長児 15人	小5 17人	小6 29人	中2 52人	高2 10人
食べる時間がなかった	53.3% (8人)	47.1% (8人)	51.7% (15人)	36.5% (19人)	80.0% (8人)
食欲がなかった	33.3% (5人)	29.4% (5人)	41.4% (12人)	40.4% (21人)	20.0% (2人)
普段から朝食はとらない	26.7% (4人)	29.4% (5人)	20.7% (6人)	34.6% (18人)	0.0% (0人)
太りたくない	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
用意されていない	13.3% (2人)	17.6% (3人)	10.3% (3人)	9.6% (5人)	0.0% (0人)
その他	6.7% (1人)	5.9% (1人)	13.8% (4人)	19.2% (10人)	10.0% (1人)

カ 1週間のうち家庭で緑茶を飲んでいる日の割合

家庭で緑茶を飲む習慣がある子供の割合は、高校2年生で最も高く約5割。

毎日飲む・飲む日の方が多い子供の割合を合わせると、年長児は25.2%、小学5年生は40.5%、小学6年生36.0%、中学2年生38.8%、高校2年生49.0%という結果となった。

	年長児	小5	小6	中2	高2
毎日飲んでいる	17.1%	22.8%	20.6%	21.0%	29.6%
飲む日の方が多い	8.1%	17.7%	15.4%	17.8%	19.4%
飲まない日の方が多い	21.9%	23.6%	25.4%	25.3%	21.7%
ほとんど飲まない	52.9%	35.9%	38.6%	35.9%	29.3%

(3) 小中学校調査

食育啓発リーフレットは約78%の小中学校で有効に活用。

食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」は、小中学校77.6%（578校）で有効に活用されており、そのうちの76.8%（444校）が今後も活用したいと回答している。

ア 食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」を活用した割合



	校数	活用率
令和3年度	578校	77.6%
令和2年度	576校	75.6%
令和元年度	571校	75.0%
平成30年度	544校	71.5%



イ 食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」の今後の活用予定 ※アで「活用した」と回答した学校のみ

	校数	割合
活用したい	444校	76.8%
活用したくない	25校	4.3%
わからない	109校	18.9%

5 まとめ

(1) 学校と家庭が連携し、朝食摂取率 100%を目指しましょう。

「食べることは生きること。」朝食を摂取することは、子供たちが一日を有意義に過ごすための活力となります。また、家族との共食は、子供たちの心の栄養にもなります。子供たちの健康な心身を育むためには、栄養バランスのとれた食事や共食、朝食摂取等の健全な食生活は欠かせないものです。さらに、食生活の乱れは将来の生活習慣病発症につながる恐れがあるため、子供の頃から望ましい食習慣を形成することが必要です。朝食を摂取しない理由で最も多いのは「食べる時間がない」であり、食べる時間を生み出すためには、乱れた生活が習慣化する前に「早く起きる」「早く寝る」といった望ましい生活習慣を身に付ける指導が必要です。

朝食摂取状況及び共食の推進は、国の第4次食育推進基本計画及び県のふじのくに食育推進計画において目標として掲げられている重点課題です。食事がコミュニケーションの場となることで、食べる楽しさや、食事のマナー、食べ物について学ぶ場にもなります。そのため、共食を推進する取組も必要です。

(2) 家庭における実践につながる指導の工夫が求められています。

多くの園及び学校では、家庭へのおたより、給食の時間の放送、健康観察、読み聞かせ、学級担任の日々の声掛けなど、あらゆる機会において、子供たちや家庭に対して朝食摂取の重要性を啓発する指導が行われ、朝食についての理解が深められています。また、学校によっては、養護教諭や栄養教諭等と連携して、体育科（保健体育科）、家庭科（技術・家庭科）及び特別活動等の時間を活用し、実践につながる指導が行われています（資料 抽出園・校で実施している朝食指導一覧）。一方で、朝食指導に取り組んでいない園及び学校があるため、家庭へのおたより、給食の時間の放送等、取り組みやすい朝食指導の方法を周知するなどの対応が必要です。

朝食摂取状況の改善は、授業や学級活動の中で行われる集団指導だけで解決することが難しい個別性の高い課題であることから、個別的な相談指導を併用することが重要であるとともに、家庭の理解が必要となります。静岡県教育委員会では、子供たちの朝食摂取状況を調査後、具体的な実践につなげる指導を実施する教材として、また、家庭に啓発する教材として、県内全小学5年生及び中学1年生を対象に、食育啓発リーフレット「朝ごはん食べていますか？」を配布しています（ホームページからリーフレットのPDFファイルをダウンロード可）。こうした教材を養護教諭及び栄養教諭等と連携し、積極的に朝食指導に活用することが望まれます。

食事の大半は家庭で行われることから、本来食育は家庭で行われるものでありますが、家庭の食に関する教育力が低下している今日では、児童生徒が学校で学んだことを保護者につなげ、家庭の食に関する教育力の向上を目指すことも重要です。子供たちの食の自己管理能力を育むため、校長のリーダーシップのもと、全教職員が連携・協力し、養護教諭及び栄養教諭等の健康教育の専門職を中心に、子供たちの実践につながる食に関する指導を行うとともに、子供たちが生涯を通じて健康な生活を送るために、家庭への啓発、家庭と連携した食育のさらなる推進が求められています。

(3) お茶を淹れて“おもてなし”ができる素敵で健康な人になってほしい。

お茶は静岡県の代表的な地場産物であり、飲み続けることで、健康増進が図られるだけでなく、学力・体力の向上にも良い影響があるといわれていますので、子供の頃からお茶を飲む習慣を身に付けたいものです。また、家庭でお茶を飲むことは、家族との共食のきっかけ作りとなり、コミュニケーションが図られます。さらに、お茶のおいしい淹れ方を身に付けることで、お茶を淹れて人をもてなすことができ、良好な人間関係の形成に役立ちます。

本県では「小中学校の児童生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例」により、学校で静岡茶を飲む機会及び静岡茶を学ぶ機会を設定し、お茶を愛飲する習慣を子供の頃から定着させる取組が求められています。具体的には、児童生徒が持参する水筒の中身を静岡茶にして、学校で静岡茶を飲む推奨期間を設定するといった工夫が考えられます。また、学校で静岡茶を学ぶ機会の提供については、小学5年生・家庭科「加熱用調理器具の安全な取扱い」において、静岡茶でお茶を淹れたり、中学校においては、技術・家庭の調理実習の際に、静岡茶を淹れて飲んだりといった工夫が考えられます。地域や学校の実態に応じた取組により、静岡茶の食育を推進して行くことが求められています。

6 参考

【本調査に関わる指標】

<第4次食育推進基本計画（国）>

項目	目標値
朝食を欠食する子供の割合	0%
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週11回以上

<ふじのくに食育推進計画（静岡県）>

項目	目標値
朝食を毎日食べる幼児、児童、生徒の割合	100%に近づける
栄養バランスのとれた朝食をとっている幼児・児童・生徒の割合	幼児 50% 小6年 55% 中2年 50% 高2年 50%
朝食を一人で食べる子どもの割合の減少	減少傾向へ
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	1週間に10回以上
緑茶を毎日飲む者の割合の増加（20歳以上）	70%

「令和3年度本県児童生徒の体格・体力の現状」作成にあたり、以下の方に御協力いただいた。

令和3年度 子供の体力向上推進委員会

(職名は令和4年3月1日時点)

杉山 康司	静岡大学教育学部教授
黒岩 一雄	常葉大学教育学部准教授
中西由美子	静岡県スポーツ協会
黒柳 哲也	静岡市教育委員会指導主事
山口 大和	浜松市教育委員会指導主事
齋藤 治	富士宮市立上井出小学校校長
岩尾 秀幸	島田市立島田第二中学校教頭
近藤 浩通	静岡県教育委員会健康体育課長

資料提供

杉山 康司	静岡大学教育学部教授
-------	------------

「新体カテスト」の入力、「体カアップコンテスト」
への参加はこちらから！



～ 静岡県子供の体力向上ホームページ ～

アドレス <https://www.stte-shizuoka.jp/>



静岡県教育委員会健康体育課